

臨床研究のお知らせ

① 試料・情報の 利用目的及 び利用方法	研究課題名	転移性大腸腫瘍の形態学的特徴と診断
	実施予定期間	2022年2月25日～2023年12月31日
	研究の概要	<p>転移性大腸腫瘍は、隣接あるいは非隣接臓器の悪性腫瘍が大腸へ転移したものを指しますが、極めて少ない疾患であり、また多彩な形態を呈するため診断が困難なことがあります。</p> <p>本研究では、転移性大腸腫瘍の臨床的特徴や形態学的特徴を解析することで、原発臓器や浸潤様式との関連を解明します。この結果により、転移性大腸腫瘍やその原発巣の診断と、それによる迅速な治療介入を可能とする意義を有します。</p>
対象患者	2010年1月から2021年12月の間に、転移性大腸腫瘍と診断された患者さんを対象とします。	
② 利用、又は提供する試料・情報	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を用いて、病変の部位や形態、原発臓器などを調査します。</p> <p>利用する情報：性別、診断時年齢、原発臓器、症状、転移性大腸腫瘍の診断契機、腫瘍の部位、個数、腫瘍径、形態学的特徴、湿潤様式、原発巣の治療法、予後</p>	
③ 利用する者の範囲	<p>広島大学病院の研究担当医師のみが情報を利用します。</p> <p>・既存情報の提供機関</p> <p style="padding-left: 2em;">県立広島病院、広島市立安佐市民病院</p> <p style="padding-left: 2em;">各機関において個人を特定可能な情報を削除し匿名化した情報をメールで広島大学病院へ提供します。</p>	
④ 試料・情報の管理責任を有する者	<p>研究代表者</p> <p>広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治</p>	
⑤ 試料・情報の提供停止について	<p>本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、ご自身の情報等が研究に利用されることを拒否される場合は、下記の窓口にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。</p> <p>（ただし、お申し出をされた時点で、データ分析等を終えている場合は、データを利用させていただくことがありますのでご了承ください。）</p>	
⑥ ⑤の受付	⑤について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	<p>県立広島病院 内視鏡内科</p> <p>職名 部長 氏名 平賀 裕子</p> <p>TEL：082-254-1818 （平日8：30～17：15）</p>
<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。</p>		